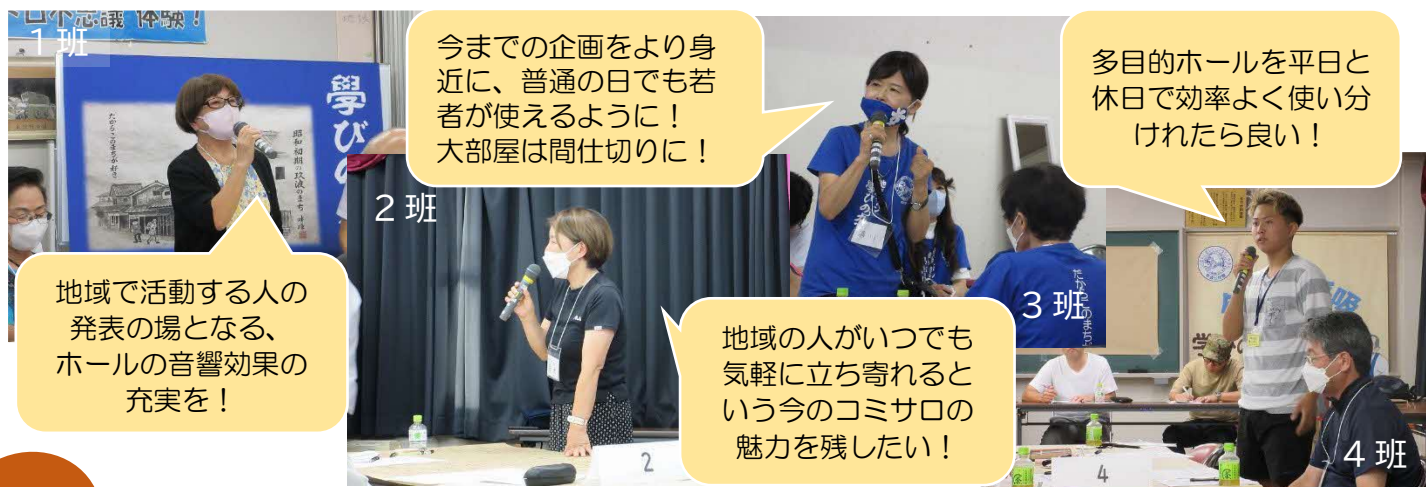


方向性	気軽に立ち寄れる（集える）・利用しやすい	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも立ち寄れる（ちょっと立ち寄れる）場所。 今まで利用していない人が利用しやすい所。 用事のない人も、気軽に来て休める。 日頃から活動できる。 など
	取組・イベントの継続、発展	<ul style="list-style-type: none"> 継続して行う行事やイベント。 多くの人が集える場所、交流できる行事。 など
	コミサロの存続、連携	<ul style="list-style-type: none"> 現状のままで、気軽に利用できる施設を継続してほしい。 コミサロの機能を残してほしい。 など
	建て替え・革新は要検討	<ul style="list-style-type: none"> 今現在使っている機能を引き継いでゆく。 備品は今までのを、使っても良い など
	災害時にも対応できる	<ul style="list-style-type: none"> 災害時にも使用できる。 など
機能・スペース	ホール	<ul style="list-style-type: none"> ホールは広く、音響も充実してほしい。ミニコンサート発表の場、多目的。 プロばかりではなく、地域の人の発表の場ができるようにする。など
	鏡部屋	<ul style="list-style-type: none"> 若者が日常的に使える部屋がほしい。（ダンスの練習など） など
	カフェ・販売	<ul style="list-style-type: none"> カフェを設置して、子ども・大人の交流ができる。 ちょっとお茶ができる、今の規模でできる。 公民館の中に小さな道の駅的な要素を入れるのも良い。 など
	図書室	<ul style="list-style-type: none"> 図書室を充実して、子どもの居場所に。 子どもが活動・交流、勉強支援の場。 など
	調理室	<ul style="list-style-type: none"> 調理室の充実 ● 高齢者・災害時の給食。 など
	和室	<ul style="list-style-type: none"> 和室を自由にゆっくりできる部屋があると良い。 など
	新機能	<ul style="list-style-type: none"> 屋上に「寝そべりや」を（ぼーっとできる空間）。 など
	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> あふれた人のために駐車場は第2、3を別地で。 など
	設備など	<ul style="list-style-type: none"> エアコン・トイレの設備を整備。 など
使い方	<ul style="list-style-type: none"> フリースペースを大部屋にして使い方により区切る。 ピークと平常時のスペースの使い分け（間仕切りのできる部屋。） 大きなホール1つ、平常時は可動間仕切りで仕切って個別利用 など	



次回

第2回ワークショップについて

9/30(日) 18:00～ テーマ: 「新しい交流施設の機能・設備・使い方について」

○ 1回目の結果を踏まえ、新しい交流施設の「機能・設備・使い方（こんなことができる場所がほしいなど）」について、今後どのように取り組むかなどの検討を行います。

玖波地域交流施設整備 ワークショップニュース



～当日のプログラム～

1. 開会・あいさつ
2. 事業の説明
3. 情報提供（施設の利用実態・ニーズなど）
4. ワークショップ
 - ・ワークショップの方法説明
 - ・ワークショップ（テーマ1～3 ※検討結果などは次頁以降参照）
 - ・まとめ
 - ・発表

新たな交流施設整備の検討に向けて 第1回目のワークショップを開催しました。

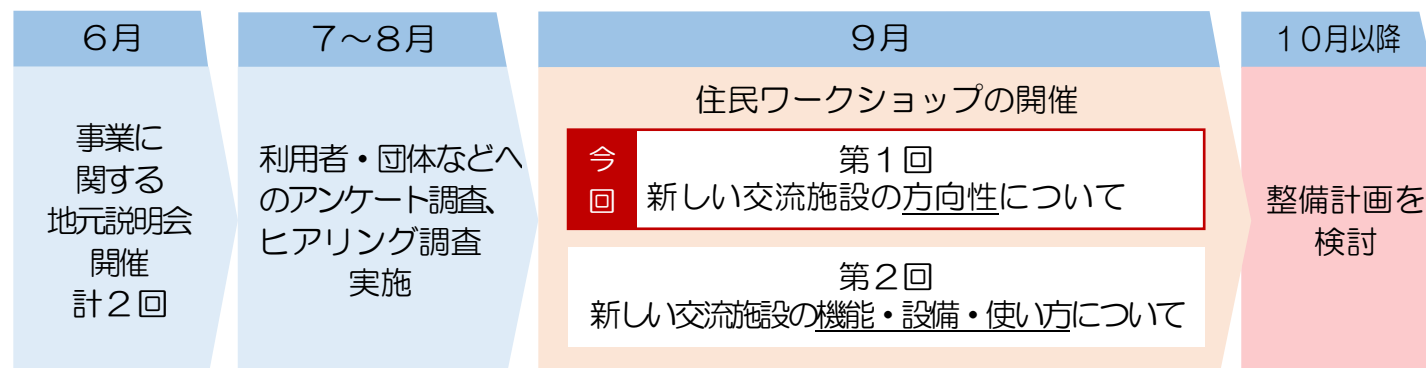
玖波公民館は、築後約50年が経過しており、建物の老朽化や耐震強度が不足しており、バリアフリー非対応であることや駐車場の不足、さらには津波・高潮の浸水想定区域内に立地していることなどの課題を抱えています。

そこで大竹市では、大竹市公共施設等総合管理計画の方向性なども踏まえた上で、公共施設を集約し、「地域交流施設」としてリニューアルすることを検討しています。

この新しい「地域交流施設」を検討していくにあたり、住民のみなさんのご意見を十分汲み取り、反映していくとともに、まちの実態について共有し、将来的なまちのあるべき姿について意見交換を行う場として、「玖波地域交流施設整備（玖波公民館建て替え）住民ワークショップ」を開催しました。具体的な整備計画を検討するまでに、全2回の開催を予定しています。

これまでの検討の流れ

今回のワークショップを開催するまでに、事業に関する説明会や、玖波公民館及びコミュニティサロン玖波の利用者や団体などに対してアンケート調査やヒアリング調査を実施しました。



1回目は「施設の方向性の検討」をテーマに、話し合いました。

当日のワークショップの流れ

初回のワークショップということで、各施設の利用実態やアンケート・ヒアリングなどの結果について説明を行った上で、テーマごとに対話を行うワークショップを実施しました。
最後に、すべてのグループからお話いただいた内容を発表していただきました。



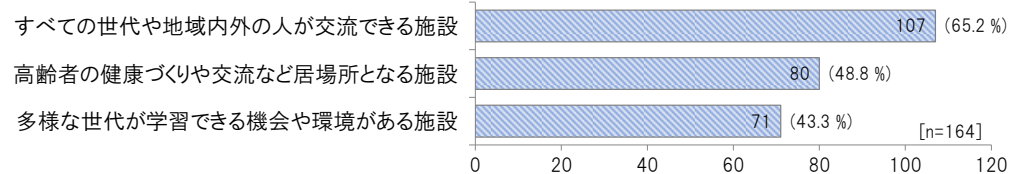
アンケート・ヒアリング調査の結果

玖波公民館とコミュニティサロン玖波を利用する利用者や利用団体などに対して、アンケート・ヒアリング調査を実施しました。その結果の概要をご紹介します。

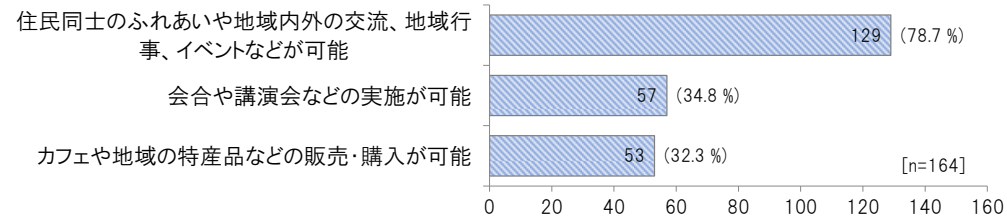
アンケート結果

※両施設の利用者：164名より回答 実施期間：R5年7月10日～24日

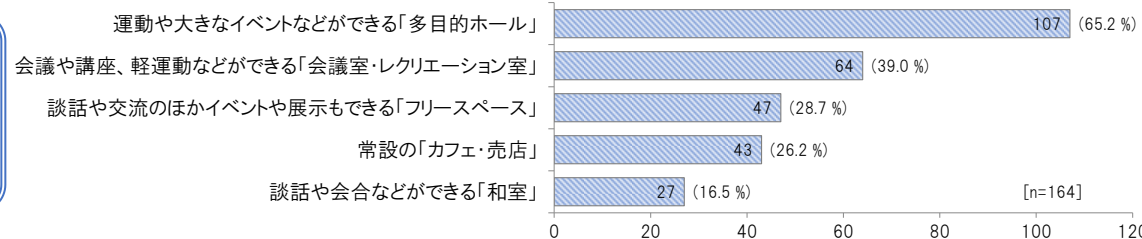
新しい交流施設はどんな施設であってほしいか



新しい交流施設に必要な機能



新しい交流施設に最低限必要だと思うスペース



ヒアリング結果

玖波公民館の利用団体の主な意見(上位)

■どんな施設であってほしいか

- 気軽に利用できる
- 多世代交流・楽しく集まれる
- 発表やイベントができる

■どのように利用したいか

- 多世代利用・交流
- 活動の継続
- 気軽に利用できる

■施設に必要なと思われる機能

- エレベーター／備品・設備／ホール／ステージ／フリースペース など

コミュニティサロン玖波の利用団体の主な意見(上位)

■どんな施設であってほしいか

- 多世代が集まりやすい、気軽に立ち寄れる
- カフェやお茶ができる

■どのように活用したいか

- 活動の継続・拡充

■施設に必要なと思われる機能

- カフェやお茶ができるスペース／備品・設備／床／キッズスペース(子どもたちが遊べる場)／授乳室 など

テーマ1とテーマ2に関する主な意見

ワークショップでは、テーマを3つ設け、各テーマで対話をしていただきました。

<テーマ1> 施設の取り組みや活動で自慢できること、誇り

<多様な交流・楽しい企画(みんなが参加できる)がある>

- 色々な人が参加できる行事、地域を巻き込んだ行事が多い。
- 活動が活発で、高齢者と若者、地域とのつながり合いを持てる。
- 活動内容が大人も子どもも楽しめ、バラエティに富んでいる。
- 小さな町だけど、質実がいっぱいある玖波の町。
- 年齢を超えて集える場所、子どもの笑顔が見れる。 など

<気軽に立ち寄れる>

- 気軽に立ち寄れる所、子ども達もすぐに寄れる。
- フリースペースで自由に音楽・コーヒーショップと楽しんでいる。 など

【玖波公民館】

- 地域ジンがいて地域の人をよく巻き込んでい
- 地域ジンの人達が活発に参加。
- 常に行事が続いている。
- 全国一になった。
- 楽しいイベントが次から次とあり、地域が楽しめる場所である。
- 他の地区にない大ホールがある。 など

【コミュニティサロン玖波】

- 生活に密着した講座があり、出席している。
- 相談コーナーがあり、助かって参加している。
- コーヒーが飲める／和室は小さい子どもさんが利用できる／気さくに出入りできる。
- カフェがあるので、気軽に寄って話ができる。 など

<テーマ2> 今関わる取り組みや活動でやっていきたいこと

<企画・イベント>

(文化・伝統)

- 映画会、ミニコンサート、星を見る会。
- 現在のロビーコンサートをさらに広げていき、ミニコンサートが開催できるような方向性。
- 伝統文化を伝えていく。
- 伝統的な神楽をみて、若者がもっと関心をもってもらえるような活動。 など

(子ども・子育て)

- 子ども天国は大人気(親子で参加)
- 引き続き、子育てサロンをやってほしい。もっと子どもが増える人が集まる町になってほしい。 など

(男性参加)

- 男性も参加できる案件がほしい(男性のための料理教室・英会話・何もなくても行ける場所に) など

<更なる多世代交流>

- 更に多世代間の交流イベントを広げていきたい。
- 多くの人活動できるボランティア活動。
- こども食堂や大人も利用できる場にしたい。 など

<機能の充実>

- 図書館、調理室を充実してほしい。
- 災害時は、炊出しの場となったりできる。
- ホールの活用は継続していきたい。
- イベント時は人が多いので、駐車場を増やす。(第2・第3...) など